

1. 大城総務理事より理事会成立の宣言
2. 大城総務理事より 24 年度第 5 回理事会の議事録確認
理事会の承認 資料 2 4 - 6 - 2
3. 大城総務理事より入退会状況の件
理事会の承認 資料 2 4 - 6 - 3
4. 事務局より各賞応募結果と選奨制度について報告
資料 2 4 - 6 - 4
5. 吉田理事より第 4 回生体医工学科連絡委員会報告
資料 2 4 - 6 - 5
作文コンテストは来年度は中止
テクノルネッサンスジャパンに参加すべきかどうか、メディア戦略としては有効では？高校生にアピールできる
他の活動は大きな変更なし
6. 木村理事より理事・監事選挙の結果報告
資料 2 4 - 6 - 6
7. 牧川理事より編集状況・課題整理
 - ① 編集状況 資料 2 4 - 6 - 7 ①
 - ② 査読委員による論文賞推薦 資料 2 4 - 6 - 7 ②
 - ③ 日本生体医工学会における利益相反ポリシー（案）
投稿規定に COI 公開を明示
COI を管理するメリット
ABI は国際誌として COI 明示が必要→姉妹紙である国内誌も必要
データに偏りがあるかどうかの判断基準
被験者・研究者の保護
学会追求の回避
デメリット
余分な労力
学会内部での情報管理
米国では教授がベンチャー企業のトップを兼務して本業がおろそかになる
アカデミックな立場から商品に有利な情報を流す
日本国内では COI が社会問題になったことはほとんどない
世間が生体医工学者に望むのは役に立つ研究をしてほしいということ
親族まで調査するのは作業量が大きすぎる
企業と付き合うのが大変だという印象から共同研究のモチベーションが下がる
面倒になり COI がないと報告すると、家族等に何かあった場合マスコミの格好のネタになる

Journal のための COI 規定を作ることには賛成

善意の研究者を COI 違反者とならないようなルール策定が必要

フリーディスカッション

日本医学会では臨床研究のみで COI を定めている

アメリカでは基礎的研究にも適用されるはず

工学系では COI はあまりなく、あまりうるさいことを言うとほかの工学関係の雑誌に投稿されることになる

臨床・基礎は分けるべきではない、ガイドライン策定時には問題

Strict にとると企業から協賛を得た研究は論文として出せなくなる

申告は研究者を守るため、個人情報をごまかすためのものではない

査読時にバイアスがかかることだけを申告させる

「利益相反はない」と書かせないようにする

(徳島大学の曾根三郎先生が COI の COE のアウトカムとして宣伝)

電力会社から 1000 万円/年もらっている例も多い

原子力村には COI ルールはない

→これらの間違ったところをまずは生体医工学会から正していく

→善意の人が無垢の犠牲者になるのでは

テンプレートについて

額は世の中の動きで変わる

利益相反は筆頭だけか、すべての著者か

謝辞と利益相反と Funding は別

資金提供を受けたが論文(デザイン、研究結果)に関係ない場合は利益相反ではないのでは?

お金を受け取れば第三者から見れば利益相反状態とみなされる

科学者が自分の良心に従って行ったのであれば利益相反はない

→国民は研究に関係ない資金でもおかしいと思う

研究に関する資金・機器などを明らかにすればよいのでは

企業が入っている場合は当然利益相反がある

「筆頭著者・・・生計を共にするもの」までを削除

一般には 100 万円、内科系は 50 万円

助成金、委任経理、個人の講演・執筆で分ける

100 万円以上ある場合にのみ COI 申告を書く→資料の 6 ページはなし

共著者がメーカーの場合、COI としての申告は不要(すでにバイアスがかかっているものと判断されるので)

査読の一環として著者に確認する

A 社からお金をもらっていることだけを書いて COI がないという表現はしない

方が世間から誤解を受けない（研究に関係なくても）

ABE としては資金提供を書けとは要求していない

④ 掲載料の改訂について

資料 24-6-7-④

学会の会費収入の 3 分の 1 程度を雑誌に負担してもらうことを想定

掲載費改定案（第 1 候補）：和文誌 20000 円/ページ、電子ジャーナル無料

8. 砂川・牧川理事より IEEE-EMBS2013、第 52 回大会準備状況報告

（資料 24-6-8）

抄録数 2600（日本から 574 件）

採否通知 3 月 24 日

Late breaking は数百を予測（現在 8 編）

3 月 24 日の Rejection rate が 20%程度と予測→Late breaking に再投稿促す

7 月 3 日に日本語セッション

参加登録：会員番号を入れないと登録料が払えない

7 月 4 日 19 時から懇親会（リーガロイヤル）、想定 2000 名

会期中に理事会を開催しなくてもよいように事前に理事会を行う

総会は決算からやや遅れても大丈夫なので 7 月 3 日に行う

7 月 3 日の 17:30 までに代議員会を開催

登録費：円建てで行こうと言っていたが、IEEE 上層部の突然の判断でドル建てで登録料を合わせる

協賛学会も学会員と同じ取扱い

ボランティア：学会に演題を出して採択された院生にメールを送る

本部雇用の事務局員との打ち合わせ必要

ボランティアの登録料をすべて無料にすると 500 万円近くで無視できない

Undergraduate は元々無料なので値引きができない

9. 佐藤副理事長より第 53 回生体医工学会大会準備状況報告

資料 24-6-9

会期：2014 年 6 月 24～26 日

場所：仙台国際センター（仙台市）

10. 佐藤副理事長より第 54 回生体医工学会大会準備状況報告

名古屋工業大学の岩田彰先生

準備進行中であるが特に連絡なし

1 1. その他

次回理事会開催について

5月、6月で日程調整

②他団体との共催・後援・協賛状況

資料24-6-11-②、別資料回覧

③IFMBE Asian Pacific Working Group 会議の年次大会に合わせた開催のお願い

資料24-6-11-③

山口理事から3月18日10～17時、仙台にて生体医工学フォーラム開催

事務局：東北大学医工学研究科・出江紳一教授

学会誌のマルチメディア対応について

PMDAについて

生体医工学シンポジウムは専門別委員会ということで九州支部とは別会計になるのか？→3月13日の打ち合わせで決定

ホームページに検索機能を載せるよう要望があったので Google を利用したが、横に企業名が出てくることを了解してほしい

阿部裕輔次期監事より

支部と専門別研究会の決算を1月末にお願いしている

2月、3月には支部会を開催していないということだった

1月31日以降の行事は次年度の行事とする

学会本部からの仮払いで対応